

## Z-4: 賛助会員セッション

# エルゼビア・ジャパン株式会社

開催日時・会場 9月4日（水曜日） 9:00 - 10:30 B201（2階）

## URAに求められるデータリテラシーとは ～ 分析を次のアクションに繋げるために ～

大学に対してEBPM (Evidence Based Policy Making) が求められる中、大量のデータを研究の企画や戦略立案に活用している事例が増え始めています。例えば、科学論文のデータ分析結果を業績評価や国際連携・産学連携に活用している大学や企業は急速に増加しています。一方で、組織内に十分なデータリテラシーを持つ教職員がいないことにより、データを非効率な方法で分析している事例や、分析結果をアクションに繋がられていない事例も存在しています。本セッションでは、このような背景を踏まえて、これからのEBPM時代においてURAに求められるデータリテラシーについて、科学論文データの分析プロセスにおける事例を紹介いたします。研究の企画や戦略立案に関する方の幅広い参加をお待ちしています。

### 【予定している内容】

#### 1. なぜデータリテラシーが必要か

- データリテラシーが欠けているとどうなるか - 科学論文分析における事例
- 分析指標を誤用している例 - データを使いこなす組織の例

#### 2. データの選定に必要なリテラシー

- データからどのようなアクションができるかを理解する - データの限界を理解する
- 科学論文分析における事例 - 先進技術に関する論文の調査
- 声をかけたい研究者とつながりのある教員の調査

#### 3. データの評価に必要なリテラシー

- データを作成するプロセスを理解する - データの精度を理解する
- 科学論文分析における事例 - 論文の学術分野を分類する方法
- 大学ランキングの要因の分析

#### 4. データの予測に必要なリテラシー

- データの経年的な変化をモニタリングする - データ同士にある相関関係を理解する
- 科学論文分析における事例 - 研究助成金の予測 - 萌芽的な研究テーマの予測

#### 5. データリテラシーを高めるために

- データの活用による業務効率化を考える - データ分析ツールを活用する - データ分析の勉強会を開催する

## オーガナイザー/ 講演者



佐藤 遼: エルゼビア・ジャパン株式会社  
リサーチ・インテリジェンス部門  
ソリューションコンサルタント



大学や企業の研究企画や経営課題の解決を目的とした科学論文分析サービス、分析ツール講習会、論文執筆セミナーなど担当。主な担当製品は、世界最大級の抄録・引用文献データベースScopus(スコープス)、研究力分析ツールSciVal(サイバル)、研究者プロファイリングツールPure(ピュア)など。